Fastening Journal & Network

# ファスニングジャーナル

（旧 全国鋲螺新聞）

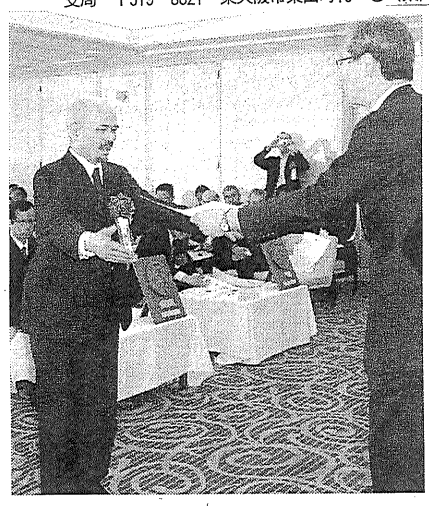
（昭和35年5月26日第三種郵便物認可）
本社 〒110—0005 東京都台東区上野7—9—15（車坂ビル） TEL.03—3844—4460 FAX.03—3844—4467
支局 〒579—8027 東大阪市東山町15—8（東山マンション） TEL.072—980—5580 FAX.072—980—5581

平成23年（2011年）
5月27日（金曜日）
発行所（株）ファスニングジャーナル
http://www.nejinews.co.jp
E-mail fj@nejinews.co.jp
毎月7日、17日、27日発行 購読料金・年12,600円（税込）

# 浪速鉄工、エンジニアが受賞

## 優秀新技術・新製品賞の贈賞式

中小企業の優れた新技術や新製品を表彰する「第23回中小企業優秀新技術・新製品賞」（公益財団法人りそな中小企業振興財団ほか主催）が発表され、ねじ関連企業からは浪速鉄工㈱と㈱エンジニアが優良賞を受賞した＝本紙第2182号にて既報＝。贈賞式典は5月11日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで開かれ、主催者を代表して同財団の水田廣行理事長が「今後の発展と進歩を期待したい」と受賞者を称えた。



同賞は、中小企業の技術振興を図り国内産業の発展に寄与することを目的に1988年に創設。新技術・新製品、新ソフトウエアの分野から、中小企業庁長官賞1件、優秀賞15件、優良賞11件、奨励賞12件の合計39件を選出し表彰している。今回は過去最多となる537件の応募があり、このうち優秀性・独創性・市場性等の点から最も優れたものが選ばれた。

最高位となる中小企業庁長官賞には、ナイトライド・セミコンダクター㈱（徳島県鳴門市。村本宣彦社長）の「紫外線発光ダイオードによる太陽光に近いRGB方式白色LED」、審査委員会特別賞には、篠田プラズマ㈱（兵庫県神戸市。篠田傳社長）の「超大画面・薄型・曲面プラズマディスプレー『SH-iPLA』をそれぞれ選出。

ねじ関連企業からは、優良賞に浪速鉄工㈱（大阪市港区。堀川忠彦社長）の「多機能吊りボルト『マルチアイボルトハイブリッド』」と㈱エンジニア（大阪市東成区。高崎充弘社長）の「潰れたネジを外せるツール『ネジザウルスGT』」が受賞した。堀川、高崎両社長ともこの日行われた贈賞式に出席。水田理事長より賞状並びに記念盾、副賞を授与された。両社の受賞内容は別掲。

主催団体を代表して水田理事長は「日本は資源や自然災害のリスクを克服し乗り越えてきたが、今回新たに、東日本大震災や少子化による人口減少の問題を背負うこととなった。今後どのような形で成長の道を辿っていくかが問われる時代だが、自信を失うことなく、新しい技術・製品を生み出し、世界へ発信していかなければならない。そうしたことも含め受賞された方々の今後の発展と進歩を期待したい」と受賞者を讃えた。

また、来賓を代表して、りそなホールディングス細谷英二会長は「震災の発生により様々な問題が露見した。今後の日本は、経済並びに経営スタイルを転換していかなければならない。そうした転換期を乗り越えていく原動力となるのが受賞された皆様のイノベーションである」と今後の発展に期待を示した。

受賞作品の内容は次の通り（発表資料より）。

◆マルチアイボルトハイブリッド（浪速鉄工） 重量物の吊上げ軸に対し360度回転し、吊り方向に対しても180度可動する多機能吊りボルト。

中空スペーサーとトラニオンとの間で回転できるようにすることで偏心荷重にも対処できるようにした。

これにより無理な曲げ荷重を回避できることから、従来のJIS規格アイボルトでの危険を伴った横吊りや斜め吊り、引き起こし作業時にも安全に使用ができ、複数回繰り返し使うことができる。

また、使用荷重はJIS規格アイボルトの3倍であるため、対象物のねじ穴加工がいらなくて済み、コスト削減が図れる。本体は使いやすさと作業効率を考え、小型・軽量化も図られている。

これまで、重量物を運搬する現場では、アイボルトの向きが一致しないと破断のリスクがあり、これを避けるためアイボルトを緩めるなどして方位を一致させるなど労力と時間を費やしていた。

また、従来の吊りボルトと比較してバリエーションに富んだ使用荷重の選択ができるという利点も備えている。

◆ネジザウルスGT（エンジニア） 頭が潰れたねじ、錆びたねじ、ドライバーで外せなくなったねじを容易に外せる工具。

通常のペンチ類は先端に横溝加工が施されているのに対して、横溝を90度回転させて縦溝加工を施し、縦溝の角度を後方に行くに従って離れる傾斜をもたせることで、頭が潰れたねじや錆びたねじを外すために大きな保持力と回転力を同時に得られるようにしたのが大きな特徴。

先端のくわえ部の内側に施された縦溝のギザ加工によりねじ頭を縦方向に確実につかむことができ、また縦溝の角度の最適化によって得られる高い摩擦力により、ねじを確実に回すことができる。

ドライバーでは外せなくなったねじを取り外す場合、ねじ頭にヤスリなどでマイナス溝や新たな溝を作るしか方法がなく、それでも完全には外せないことが多かったが、ねじ頭外周を挟んで使用するため、ねじ頭の潰れ方に関係なく衝撃なども与えずにねじを外すことができる。

## 浪速鉄工

# 受賞祝賀会を開催

## 副賞は震災義援金に寄贈

←受賞祝賀会で記念盾を掲げて挨拶を述べる堀川社長

浪速鉄工㈱（堀川忠彦社長）は、生産提供する多機能吊りボルト「マルチアイボルトハイブリッド」が第23回中小企業優秀新技術・新製品賞において優秀賞を受賞したことを記念して5月13日、大阪市中央区心斎橋筋の鍋・鉄板焼専門店〝鍋まる〟において受賞祝賀会を開催した。席上、堀川社長は同賞副賞の金三十万円を全社員の志による震災への義援金として寄贈すると説明したあと「今秋には吊り具の新製品発表を計画しており、毎年このように喜びを分かち合える祝いの会をおこないたい」と述べた。

祝賀会には堀川社長をはじめ同社の営業・管理・製造・物流などの各部門スタッフに加え、受賞該当製品であるマルチアイボルトハイブリッドの製品化に携わってきた機械加工、熱処理、梱包資材等の協力サポート企業の関係者を合わせて約40名が出席。管理部門の山口氏が司会を務めて午後7時半にスタート。

開会に当り堀川社長は、優秀賞の概要と受賞経緯などに触れてから「本日は滅多にない御めでたい事だと思い、当社社員そして対象となったマルチアイボルトに関係する各企業の皆様にもお集まりを願い、日頃の感謝の意味も込めて一緒に喜んで頂ければと企画しました。ここに受賞の記念盾並びに賞状、さらに副賞として金三十万円を受けています。副賞につきましては、社会に貢献する製品提供の展開を図るなかで全社員の暖かい志により先日、日本赤十字社を通じて東日本大震災の義援金に寄贈しました。今後も更なる市場での普及に取り組むとともに、今秋には研究開発の成果として吊り具の新製品発表を計画しています。今回の受賞を機に、毎年このように皆様と喜びを分かち合える祝いの会ができるように、社員一同が一層努力すると共に、協力企業様には変わらぬご支援を宜しくお願い致します」と挨拶した。

つづいて、協力サポート企業各社から出席した来賓諸氏の紹介が行われ、来賓代表者が祝辞を述べて乾杯の音頭をとった。会場内は受賞を祝う独特のムードに包まれ、特選の〝大人が楽しむ 黒毛和牛コース〟の各種料理を堪能しつつ和やかなひとときを過ごし、同社・山崎工場長の中締めをもって散会となった。

## 前年度比58%増

### 特殊鋼工具の生産

日本工作工業会がまとめた2010年度の特殊鋼工具の生産・出荷推移によると、生産額は七六四億一五〇〇万円で前年度比57・9%増となった。出荷額は七七三億一七〇〇万円で同44・2%増。いずれも4年ぶりの前年度比プラスである。向け先別にみると中国をはじめとする新興国向けが伸びていることに加え、国内では自動車関係向けが増加に転じている。ピーク時比で半減以上の落ち込みとなった09年度に比べればほぼ倍増であるが、07年度の一千億円台、08年度の九〇〇億円台に比べると低水準である。

品目別の10年度出荷額をみると、ドリルが一六三億二六〇〇万円（前年度比46・5%増）、タップ・ダイスが二七九億七六〇〇万円（同56・5%増）、ギアカッターが九九億八〇〇〇万円（同33・3%増）、ブローチが一〇五億五四〇〇万円（同47・0%増）といずれも大幅増加である。

## ノルトロック、ナミテイ参加

# 西日本総合機械展

## 6月23日～25日 小倉の展示場で

第51回西日本総合機械展は6月23日～25日の三日間、北九州市小倉北区浅野の西日本総合展示場新館で開催される。ねじ関連企業では、㈱ノルトロックジャパン、ナミテイ㈱九州工場・九州営業所等が新素材、CAD／CAMなど。

また、今後の産業界にとっての共通基盤技術であるナノテクノロジーをテーマにした福岡ナノテクNOW2011をはじめ、第37回ふくおか産業技術振興展、ロボット産業マッチングフェア北九州、受注拡大商談会IN北九州などが同時開催される。これらは製造現場の生産性向上に不可欠なロボット技術や、製造業を支える中小企業の製品と技術を紹介しその振興を図ることを目的としている。

主催は㈶西日本産業貿易コンベンション協会。入場料七

## 商連常任理事会

日本ねじ商業協同組合連合会（小泉勝彦会長）は、きたる6月7日正午から名古屋市中村区の名鉄ニューグランドホテルで第3回常任理事会を開催して第36期通常総会の運営について最終的な決定を行なう。議案は①通常総会の準備状況、連絡事項について②総会への上程議案の件③総会の式次第及び担当者の決定④23年度常設委員会の委員長・副委員長選任⑤会計監査の件⑥ねじ商工連盟の通常総会の件⑦総会後の23年度第1回常任理事会開催の件。